

2026年度 一般選抜 学力検査 (選択科目)

## 世界史探究

解答番号  ~

FW3

世

【1】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

東南アジア大陸部では、前 4 世紀にはベトナム北部を中心に、銅鼓などの青銅器や鉄製農具を用いる **A** 文化が存在した。前 2 世紀末、漢の武帝はベトナムに進出し、**B** を置いた。その後、さらに紀元前後から各地との交流が盛んになり、それを背景に、1 世紀頃、ベトナムの南部には <sup>(a)</sup> オケオを外港とする交易国家 が登場し、5 世紀に最盛期を迎えた。また、ベトナム中部には、2 世紀頃 <sup>(b)</sup> チャンパー がおこった。チャンパーは 15 世紀に最盛期を迎えたが、15 世紀後半以降は、<sup>(c)</sup> 北部ベトナムの大越 に圧迫されるようになった。

サバナ草原からメコン川流域にかけての地域では、6 世紀頃 **C** のカンボジア(真臘)が成立した。インドの <sup>(d)</sup> ヒンドゥー教 の影響が及んでいたカンボジアは一時は陸真臘と水真臘と呼ばれる勢力に二分されるが、9 世紀には <sup>(e)</sup> アンコール朝 のもとで再統一が果たされた。

エーヤワディー川流域では 9 世紀頃までピュー人の勢力が有力であったが、その後衰え、11 世紀頃にはビルマ人がパガン朝を建てた。パガン朝は元軍の侵入をきっかけに衰退し、13 世紀末に滅亡した。その後 16 世紀になると、パガン朝に続くビルマ人の王朝として **D** が成立した。**D** はベンガル湾の交易で繁栄し、16 世紀後半にはタイ・ラオスを支配下に置く広大な王国に発展した。

チャオプラヤ川下流には、7 世紀頃モン人の **E** 王国が成立した。その後、この王国はタイ人によって征服され、同化されたと考えられている。13 世紀にはタイ北部にスコタイ朝が成立し、ラームカムヘーン王の時代に最盛期を迎えた。**E** 王国やスコタイ朝では、<sup>(f)</sup> 上座部仏教 が導入され、仏教文化が栄えた。他方、タイ南部では、14 世紀にアユタヤ朝が成立し、15 世紀にはカンボジアのアンコール朝やタイ北部のスコタイ朝を支配下に置いた。

問 1 **A** に当てはまる語句はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**1**。

① オルメカ

② チャビン

③ サーフィン

④ スワヒリ

⑤ ドンソン

問2 **B** に当てはまる郡名はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**2**。

- ① 日南郡                      ② 楽浪郡                      ③ 南海郡                      ④ 帯方郡

問3 下線部(a)について、[1]この交易国家の中国側からの呼称はどれか。[2]オケオの遺跡からはインドの神像・仏像、中国の漢の鏡、ローマ帝国からもたらされたと思われる金貨などが見つかっている。そうした金貨の中には、ローマ帝国五賢帝最後の皇帝であり、『自省録』を著したことでも知られる皇帝の肖像と銘が刻まれたものがある。この皇帝は誰か。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**3**・**4**。

- [1] ① 林邑                      ② 扶南                      ③ 亀茲  
④ 吐蕃                      ⑤ 南詔

**3**

- [2] ① ハドリアヌス帝      ② アントニヌス=ピウス帝  
③ マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝  
④ トラヤヌス帝          ⑤ コンスタンティヌス帝

**4**

問4 下線部(b)について、チャンパーでは4世紀末からインド化が進んだ。「インド化」の要素の1つとしてサンスクリット語の伝播があるが、サンスクリット語が属する語族はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**5**。

- ① オーストロアジア語族      ② シナ=チベット語族  
③ ドラヴィダ語族              ④ インド=ヨーロッパ語族      ⑤ アルタイ語族

問5 下線部(c)について、北部ベトナムは長く中国の支配下にあったが、唐末の政治的混乱を機に、10世紀後半に独立を果たし、1054年以降19世紀初めまで、大越を国号とするようになった。大越では、いくつかの王朝が登場したが、その中で、民族文字のチュノム（字喃）が制定されたときの王朝はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**6**。

- ① 李朝                      ② 黎朝                      ③ 阮朝                      ④ 陳朝

問6 **C** に当てはまる語句はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**7**。

- ① クメール人                      ② タミル人                      ③ サカ人                      ④ シンハラ人

問7 下線部(d)について、[1]インドにおいてヒンドゥー教が確立され、またインド古典文化が完成期を迎えたとされる4世紀から6世紀半ばにかけての時期に北インドを統一していた王朝はどれか。[2]ヒンドゥー教に関する記述として正しいものはどれか。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**8**・**9**。

- [1] ① マウリヤ朝                      ② ナンダ朝                      ③ ヴァルダナ朝  
④ ハルジー朝                      ⑤ グプタ朝

**8**

- [2] ① 世界保持者で万能の主宰者であるシヴァ神が主神の一つであった。4本の手で4つの武器をもつ姿で描かれる。  
② 破壊と創造の神ヴィシュヌ神が主神の一つであった。額に第3の目を持ち、コブラとともに描かれる。  
③ 北インドのバラタ族間の18日間にわたる戦争物語である大叙事詩『マハーバーラタ』がヒンドゥー教の聖典の一つとされた。  
④ コーサラ国のラーマ王子の冒険をうたった大叙事詩の『シャクンタラー』がヒンドゥー教の聖典の一つとされた。  
⑤ ヴァルナごとの義務や生活規範についての書『ウパニシャッド』がヴァルダマーナによってまとめられ、ヒンドゥー教徒の生活をその後も縛ることになった。

**9**

問8 下線部(e)について、アンコール朝の王が造営したものに関する記述として正しいものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**10**。

- ① ジャヤヴァルマン2世がアンコール=ワットを造営した。  
② ジャヤヴァルマン2世がアンコール=トムを造営した。  
③ スールヤヴァルマン2世がアンコール=ワットを造営した。  
④ スールヤヴァルマン2世がアンコール=トムを造営した。  
⑤ ジャヤヴァルマン7世がアンコール=ワットを造営した。

問9 **D**に当てはまる王朝はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**11**。

- ① チョーラ朝                      ② タウンゲー朝                      ③ パンディヤ朝  
④ パーラ朝                      ⑤ ラーシュトラクータ朝

問10 **E** に当てはまる語句はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**12**。

- ① シュリーヴィジャヤ
- ② シャイレンドラ
- ③ ヴィジャヤナガル
- ④ ドヴァーラヴァティー

問11 下線部(f)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**13**。

- ① 大乘仏教の一派で、利他行を行う菩薩への信仰を主とした。
- ② 部派仏教の一派で、弥勒仏による救済信仰が中心であった。
- ③ 部派仏教の一派で、阿弥陀仏信仰を主とする如来思想を信奉した。
- ④ 大乘仏教の一派で、竜樹の『中論』によってその教説が完成された。
- ⑤ 部派仏教の一派で、戒律とみずからの解脱を目指す修行を重視した。
- ⑥ 大乘仏教の一派で、大日如来信仰を中心とした密教的色彩の濃い仏教だった。

【2】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

人類は、都市という空間を単なる居住や交易の場としてだけでなく、統治と秩序の象徴の場としても構築してきた。(a) 古代メソポタミアの都市では、宗教と政治が結びついた象徴的な建築物が都市構造の中心に据えられていた。また、インダス文明の都市遺跡である (b) モエンジョ (モヘンジョ) = ダーロヤハラッパーでは、整然とした街路や住居配置などに共通の構造様式が見られる。このことから、都市空間に関する一種の秩序感覚、それぞれの地域・時代に固有の秩序感覚が存在したことがうかがわれる。他の例を挙げると、唐代の都長安は北闕型<sup>ほっけつ</sup>と呼ばれる構成を有している。すなわち、隋の **A** の形式を引き継ぎ、北中央に宮城を配し、その東西および南に整然と官庁・市街を設けている。

古代ギリシアのポリスは、市域と周囲の田園から成り立っていたが、市域中心部は砦であるとともに神殿が建てられる聖なる場でもあった。アテネのパルテノン神殿は、**B** 式神殿の傑作として知られている。その麓の **C** は、市民の交易の場でもあり集会の場でもあった。したがって、政治と宗教に関わる空間と日常生活に関わる空間との接点となっていた。古代ローマにおいても、広場は重視されていたが、同時に (c) 市民たちの娯楽の場も都市空間の中で重視されていた。

イスラームの都市は多様な起源を有している。(d) イスタンブル (コンスタンティノープル) のように以前からある有力都市を征服し都とした場合もあれば、まったく新たに造営した場合もある。また、(e) 軍営都市が起源となった場合もある。いずれにせよ、都市の焦点の一つとなったのが、(f) 礼拝施設のモスクであった。

中世以降のヨーロッパに眼を転じてみよう。ローマ人が建設した都市、(g) 司教座を有して発展した都市、城郭から発達した都市、さらに商業の発達による経済的な要地に成立した都市など、その中世都市の特徴はさまざまであるが、共通しているのは、市壁で囲われ、教会と市場広場をもつことであった。

絶対王政の時代に入り、中央集権化が進むと、首都に行政機能が集中し、その国の代表的都市として他の都市からは隔絶した地位を得るようになる。フランスにおけるパリ、イギリスにおけるロンドンなどはその代表的な存在である。しかし、こうした首都は必ずしも権力の可視化の機能を果たしたとは言い切れない。むしろ (h) 首都中心部から若干離れた広大な空間に造営された巨大な宮殿こそが権力を誇

示する役割を十分に果たすようになり、都市空間の整備作業は後回しにされていき、  
(i) しばしば、大火災や感染症の大流行が起こることになった。その後、産業革命が  
起こると、都市への人口集中も相まって、とりわけ大都市の整備の遅れが痛感され  
るようになり、19世紀には、(j) 国家事業としての都市改造が特に大都市に関して  
進められるようになった。それはある意味で、近代国家による新しい形での権力顕  
示であったともいえるし、市民の空間としての都市という、近代国家にふさわしい  
象徴空間を創出する試みであったともいえる。

問1 下線部(a)について、古代メソポタミアの都市の中心に位置した階段状の高層建  
築で、その頂<sup>いたき</sup>には神殿も設けられた構造物はどれか。次の①～⑤の中から一つ選  
びなさい。解答番号は、**14**。

- ① ストウーパ                      ② ピラミッド                      ③ ジググラト  
④ イコン                              ⑤ ミナレット

問2 下線部(b)について、これらの都市遺跡に関する記述として誤っているものはど  
れか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**15**。

- ① 中心部には宮殿が周辺部には陵墓があった。  
② 下水道が整備されていた。  
③ 市街地に隣接して城塞があった。  
④ 沐浴場、会議場などの施設があった。  
⑤ 焼成煉瓦づくりの建物が並んでいた。

問3 **A** に当てはまる隋の都はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答  
番号は、**16**。

- ① 洛陽                              ② 平城                              ③ 建康  
④ 成都                              ⑤ 大興城

問4 **B** に当てはまる語句はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番  
号は、**17**。

- ① イオニア                              ② コリント                              ③ ドーリア  
④ スパルタ                              ⑤ クノッソス

問5 **C** に当てはまる語句はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**18**。

- ① シノイクスマス                      ② アゴラ                      ③ クレーロス  
④ ヘレネス                              ⑤ アクロポリス

問6 下線部(c)について、剣闘士の試合などが行われ、ローマ市民の娯楽の中心となったもので、現在でもローマ市内に遺跡として残っているものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**19**。

- ① ムセイオン                              ② マドラサ                      ③ パンテオン  
④ コロッセウム                              ⑤ フォロ＝ロマーノ

問7 下線部(d)について、1453年、ビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルを陥落させたオスマン帝国のスルタンは誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**20**。

- ① バヤジット1世                              ② メフメト2世                      ③ スレイマン1世  
④ ムラト1世                                      ⑤ セリム1世

問8 下線部(e)について、初期イスラーム時代の軍営都市フスタート起源で、その近郊にファーティマ朝が新都として建設し、以後アイユーブ朝、マムルーク朝など諸王朝の首都となった都市はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**21**。

- ① メディナ                                      ② ブハラ                              ③ ダマスクス  
④ タブリーズ                                      ⑤ カイロ



問13 下線部(j)について、国家事業としての大都市改造の代表的な例は、19世紀半ば、第二帝政期にオスマンが実施したパリ改造である。これに関する記述として誤っているものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、26。

- ① 公衆衛生面を考慮して、地下上下水道を建設した。
- ② 何重かの環状道路と放射状に走る道路網を組み合わせた道路網を建設した。
- ③ 治安対策のため、スラム街を一掃した。
- ④ 交通渋滞解消のため、世界初の地下鉄を建設した。

【3】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

自然災害や戦争、内乱などが続く不穏な時代には、宗教が人々の心をつかむ。元朝末期も例外ではなく、白蓮教が広まり、大きなうねりとなった。白蓮教徒の一部は蜂起し、挙兵した。これが「**A**の乱」である。混乱する社会の中で頭角をあらわした**B**は1368年に皇帝となり、<sup>(a)</sup>明朝を建て、**C**に都を置いた。

明朝は国内統治と同様、対外貿易、対外政策においても<sup>(b)</sup>厳格な政策を採用した。特に、周辺地域との間では国家管理による<sup>(c)</sup>朝貢貿易を推進した。

明代には国際交易が盛んになるとともに、その影響を受け、中国国内の<sup>(d)</sup>商工業も発展した。さらに、商工業の発展は文化の発展も促すこととなる。この時代には木版印刷により<sup>(e)</sup>書物も多数出回った。

問1 **A**に当てはまる語句はどれか。次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**27**。

- |      |      |      |
|------|------|------|
| ① 赤眉 | ② 紅巾 | ③ 黄巾 |
| ④ 黄巢 | ⑤ 八王 | ⑥ 三藩 |

問2 **B**に当てはまる人物は誰か。次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**28**。

- |         |       |       |
|---------|-------|-------|
| ① 李淵    | ② 劉邦  | ③ 項羽  |
| ④ 耶律阿保機 | ⑤ 趙匡胤 | ⑥ 朱元璋 |



問5 下線部(b)について、明代の対外貿易政策に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**33**。

- ① 陸上交通や陸上交易を制限する政策として羈縻政策を行った。
- ② 陸上交通や陸上交易を管理するために辺境地に都護府が置かれた。
- ③ 海上交通や海上交易を制限する政策として海禁を行った。
- ④ 海上交通や海上交易を管理するための官庁として市舶司が明州にはじめて置かれた。

問6 下線部(c)について、[1]明朝と日本の間の朝貢貿易に関する記述として正しいものはどれか。[2]鄭和の遠征がきっかけとなり、明に朝貢を行うようになった、15世紀には東南アジアの交易の拠点となった王国はどれか。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**34**・**35**。

- [1] ① 徳川家康は「日本国王」に封じられ、明朝と朱印船貿易を行った。  
② 豊臣秀吉は「日本国王」に封じられ、明朝と勘合貿易を行った。  
③ 足利義満は「日本国王」に封じられ、明朝と勘合貿易を行った。  
④ 織田信長は「日本国王」に封じられ、明朝と朱印船貿易を行った。  
⑤ 中山王は「日本国王」に封じられ、明朝と勘合貿易を行った。 **34**

- [2] ① ダホメ王国                      ② ベニン王国                      ③ アクスム王国  
④ マラッカ王国                      ⑤ マラター王国 **35**

問7 下線部(d)について、明代に政府直営の工場が建てられ、陶磁器の一大産地として明代窯業の中心地となった場所はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**36**。

- ① 鎬京                                      ② 蘇州                                      ③ 天津
- ④ 景德鎮                                      ⑤ 泉州

問8 下線部(e)について、[1]元末から明初に羅貫中によって加筆され、普及した小説として正しいものはどれか。[2]明代に出版された書物に関する記述として正しいものはどれか。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**37**。  
**38**。

[1] ① 『紅樓夢』                      ② 『儒林外史』                      ③ 『三国志演義』

④ 『大唐西域記』                      ⑤ 『聊齋志異』

**37**

[2] ① アダム＝シャルによる『幾何原本』が刊行された。

② マテオ＝リッチによる『崇禎暦書』が刊行された。

③ 徐光啓による『天工開物』が刊行された。

④ 李時珍による『本草綱目』が刊行された。

⑤ 宋応星による『農政全書』が刊行された。

**38**

【4】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

大航海時代と呼ばれる 15～16 世紀以降、スペイン、ポルトガル、オランダ、イギリス等のヨーロッパ諸国は非ヨーロッパ世界へ進出し、18 世紀半ばまでに南北アメリカ、カリブ海諸島、アフリカ沿岸部等を支配下におさめていった。(a) 中でもイギリス帝国による植民地拡大の勢いは目覚ましく、19 世紀半ばまでにインドの大半とオーストラリアを植民地とした。

1870 年代から 1880 年代は帝国主義時代の幕開けとみなされる。これ以降、ヨーロッパ諸国によるアフリカの植民地化が急激に加速した。アフリカでは 19 世紀中頃、ヨーロッパ人によって内陸部の豊富な資源の存在が「発見」された。ヨーロッパ諸国は自国の工業化と資本主義の発展を背景に、(b) アフリカに、奴隷の供給地としての従来の役割に代わり、工業原料供給地と自国の工業製品の市場としての役割を見出していった。(c) イギリスは、1875 年にスエズ運河会社株を買収し、以後もっとも積極的にアフリカ分割に関わった。(d) 後発国であったドイツも、1880 年代から世紀転換期にかけて、アフリカへの進出をはじめていく。

列強を含むヨーロッパ 14 カ国は、1884 年から 1885 年にかけて、アフリカに関する利害を調停すべく (e) ベルリン会議 (ベルリン=コンゴ会議) に集まり、アフリカ分割および植民地化の原則を取り決めた。19 世紀後半以降、イギリスはエジプト、スーダン、(f) 南アフリカなど、フランスはアルジェリア、チュニジア、モロッコなどを、**A** はカメルーン、トーゴなどを、**B** はリビア、ソマリランドなどを、**C** はコンゴを、それぞれ植民地支配のもとに置いた。第一次世界大戦が勃発する 1914 年時点で国家としての独立を保ったのは **D** 共和国と (g) エチオピア帝国 の 2 カ国だけであった。

問1 下線部(a)について、[1]19世紀におけるインドとイギリスの関係に関する(ア)～(エ)の記述を時系列で正しく並べたものはどれか。[2]イギリスによる植民地化後に人口が激減したオーストラリアの先住民はどれか。それぞれ、①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**39**・**40**。

- [1] (ア) イギリス政府がインドの直接統治をはじめた。  
(イ) 中国貿易・茶貿易に関する東インド会社の独占権が廃止された。  
(ウ) ヴィクトリア女王がインド皇帝に即位し、イギリス支配下でインド帝国が成立した。  
(エ) インド人傭兵(シパーヒー)がムガル皇帝を擁立して反乱を起こし、イギリスに宣戦した。
- ① (エ) — (ア) — (ウ) — (イ)  
② (エ) — (イ) — (ア) — (ウ)  
③ (イ) — (エ) — (ア) — (ウ)  
④ (イ) — (ア) — (ウ) — (エ) **39**

- [2] ① アボリジニー      ② マオリ人      ③ チェロキー  
④ アクスマ人 **40**

問2 下線部(b)について [1]ヨーロッパで産業革命が始まる前に、奴隷の供給地としての西アフリカを含む、いわゆる大西洋三角貿易の説明として誤っているものはどれか。[2]アフリカをめぐるヨーロッパ諸国の政策や事件に関する記述として正しいものはどれか。それぞれ、①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**41**・**42**。

- [1] ① 西ヨーロッパから武器や綿織物などが輸出された。  
② 西アフリカは砂糖・綿花などを輸入した。  
③ 南北アメリカ大陸・カリブ海地域から砂糖・綿花などが輸出された。  
④ 南北アメリカ大陸・カリブ海地域は奴隷を輸入した。 **41**
- [2] ① モロッコをめぐる、フランスとイギリスが2度にわたって紛争を起こした。  
② フランスは、西アフリカ・サハラ砂漠地域と東のジブチとの連結を目指すアフリカ横断政策をとった。  
③ フランスとドイツが、スーダンのナイル河畔で遭遇し、一触即発の事態と

なるファショダ事件が起こった。

- ④ ベルギーは、北アフリカのオスマン帝国領獲得を目指して侵略戦争を起こし、トリポリ・キレナイカを獲得した。 42

問3 下線部(c)について、[1]1854年エジプト政府からスエズ運河建設の特許を獲得し、スエズ運河株式会社を設立したフランスの外交官は誰か。[2]略図上の○印のうち、スエズ運河の位置を示したものはどれか。それぞれ、①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、43・44。

- [1] ① ティエール                      ② スタンリー                      ③ タレーラン  
④ レセップス 43

- [2] ① あ                      ② い                      ③ う                      ④ え 44

<略図>



問4 下線部(d)について、この時期のドイツの状況に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**45**。

- ① ヴィルヘルム2世は領土拡張や植民地拡大に慎重な姿勢で臨み、もっぱら他の列強との利害調整によって海外領土の安定をはかった。
- ② ビスマルクが海軍の拡張による「世界政策」と呼ばれる帝国主義政策を開始した。
- ③ 市民層の間に、ドイツ帝国の世界覇権を実現しようとするパン=スラヴ主義の思想が広まった。
- ④ 社会主義者鎮圧法が廃止され、社会民主党が勢力を拡大した。

問5 下線部(e)に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**46**。

- ① ある地域の占領が認められる先占権の条件として、通行や交易などのヨーロッパ人の活動を保障できる実効支配がなされていることが必要であると確認された。
- ② ニジェール川河口地域の統治権がイギリスに認められた。
- ③ マダガスカル島の統治権がドイツに認められた。
- ④ 沿岸地域の植民地はその後背地も保有するという境界確定の原則が確認された。

問6 下線部(f)について、南アフリカは、南アフリカ戦争と呼ばれる、オランダ系移民の子孫であるブール人（アフリカーナー）とイギリスとの戦争の結果、イギリスの支配下に置かれた。この戦争にいたる経緯に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**47**。

- ① イギリスのローズがケープ植民地を開いた。
- ② ブール人（アフリカーナー）の建てたオレンジ自由国でダイヤモンド鉱山が発見され、イギリスの侵略を招いた。
- ③ 南アフリカ連邦でダイヤモンド鉱山と金鉱が発見され、ブール人（アフリカーナー）とイギリスの対立が激化した。
- ④ イギリスは、ブール人（アフリカーナー）に対抗するためにトランスヴァール共和国を建てた。

問7 **A**・**B**・**C**に入る国名の組み合わせとして正しいものはどれか。次の

①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**48**。

- |          |         |         |
|----------|---------|---------|
| ① A：イタリア | B：ドイツ   | C：ポルトガル |
| ② A：イタリア | B：ベルギー  | C：ポルトガル |
| ③ A：ベルギー | B：ポルトガル | C：ドイツ   |
| ④ A：ベルギー | B：ドイツ   | C：イタリア  |
| ⑤ A：ドイツ  | B：イタリア  | C：ベルギー  |

問8 **D**に当てはまる語句はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**49**。

- |        |        |          |
|--------|--------|----------|
| ① ギニア  | ② ウガンダ | ③ モザンビーク |
| ④ リベリア | ⑤ ナミビア |          |

問9 下線部(g)に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**50**。

- ① ビスマルクの提唱によって開かれたベルリン会議で、エリトリアがエチオピア帝国から分離され、イタリアの領有に帰した。
- ② 19世紀末、フランスの支援を受けたエチオピア軍が、侵入してきたイタリア軍をアドワで破った。
- ③ 1930年代半ば、イタリアのムッソリーニがエチオピアに侵攻を試みたが、アメリカの支援を受けたエチオピア軍が撃退し、独立を保った。
- ④ 1970年代半ば、軍部のおこしたエチオピア革命によって皇帝ハイレ=セラシエが退位させられ、エチオピア帝国は終焉した。